

高松立太田南小学校 体力向上プラン

人間性豊かで 心身ともに健康で実践力のある たくましい子どもの育成

めざす児童像—たくましく考える子 たくましく判断する子 たくましく行動する子—

【本校の課題】

- スポーツや運動遊びの経験が少ない児童が多い。休み時間や昼休みにボールや遊具を使った外遊びを行う児童とそうでない児童の差が大きく、運動に親しむ習慣が二極化傾向にある。
- 児童数に対して運動できるスペースが少ない。
- R5年度の新体力テストの結果が、全国平均（R5年度）と比較して低い項目が多く、特に握力、20mシャトルランにおいては、ほとんどの学年で低い数値になっている。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られるが、学年や人数が固定化されている。昼休みには、全体遊びをしているクラスとそうでないクラスがあるため、運動経験に差が生じている。また、多くの子どもたちが、ボールを使った遊びや鬼遊びが中心で、遊具などで遊ぶ姿は比較的少ない。

一昨年度より一校一運動として取り組んできた縄跳びの効果もあり、年間を通して縄跳びで遊んでいる児童の数は増えてきている。一方で、低学年に比べて高学年の取り組み方が比較的消極的であるという課題もある。

【取組み】

〈環境整備〉

①ソフトドッジボールの充実

苦手な児童やボールに恐怖心がある児童でも楽しめるように、ソフトドッジボールを購入する等体育備品を充実させ、児童の運動に対する抵抗感を低くし、様々な運動に親しめるようにする。

②ジャンピングボードの設置

現在、約30個あるジャンピンボードを常設し、いつでも縄跳びに親しめるようにする。

〈委員会の充実〉

①運動講座の実施

全校生に安全に運動を楽しんでもらうために、体育委員会で考えた講座を開催し、少しでも運動を楽しんでもらえるようにする。
（例：縄跳び、遊具を使っのサーキット、新体力テストに向けた練習など）

②芝生の草抜き

全校生が安全に外遊びができるように、定期的に草抜きをする。

〈意欲付け〉

①カードや掲示の充実

新体力テストの上位者の結果を掲示したり、持久走カードなどを作成したりすることで、友だちと競い合ったり、昨年度の自分と比べたりしながら取り組めるようにする。

②クラスマッチの実施

昨年度と同じようにクラスマッチを実施し、球技でのクラスマッチを実施する。体力向上だけでなく、全力で取り組む態度を育てたり、お互いを応援し合うことで学級づくりにも生かしたりできるようにする。

③外遊びの見える化（予定）

GIGA 端末を使って、毎日の外遊びの状況を打ち込み、どれくらい外遊びができているか、どんな遊びをしているか、を打ち込んでデータを取る。

クラスの合計を集計したり、学校全体のデータを集計したりし、全校生に周知することで意欲付けできるようにする。

【目標】

- R7年度までに、新体力テストの半分以上の項目で、全国平均以上を目指す。
- 日常的に外遊びをする児童を、6年度末までに全校生の70%以上を目指す。
- 運動やスポーツに親しむ経験ができる場を設けて、運動が楽しいと答える児童を90%以上にする。